

明示事項の方法

確認手続きの運用改善(第二弾)に準じた構造詳細図の明示例の方法。

運用改善第二弾の構造詳細図の明示の例に倣って次のような明示の方法を参考にしてください。

(方法1)

- ・平面図、系統図又は配置図に、(ア)給湯設備(給湯機器)等の位置を明示し、かつ、(イ)その構造方法の内容を当該部分に明示する方法。

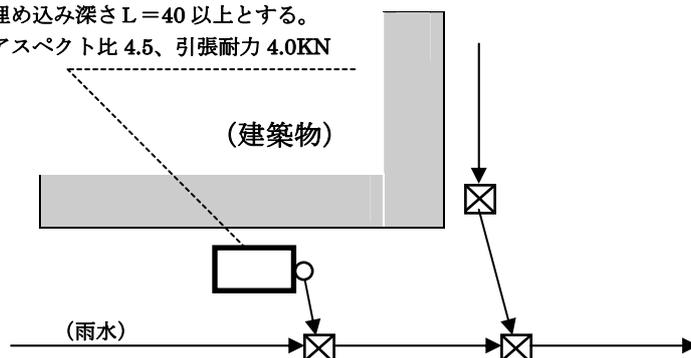
∴(ア)+(イ)の方法を明示する。

電気温水器(運転重量 550kg)を1階に設置

M12 おねじ形アンカー×4本、床のみに固定

埋め込み深さL=40以上とする。

アスペクト比 4.5、引張耐力 4.0KN

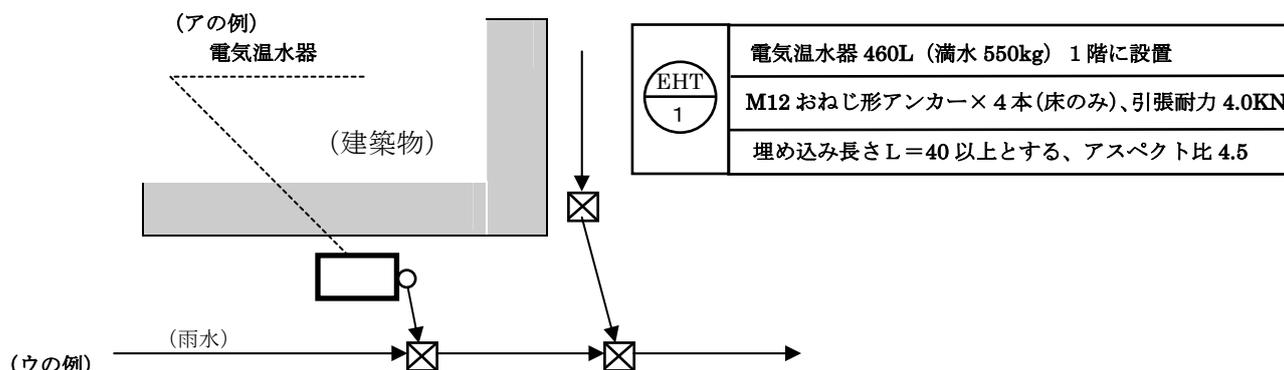


(方法2)

- ・平面図、系統図又は配置図に、(ア)給湯設備(給湯機器)等の位置を明示し、かつ、(イ)当該給湯設備の機器リストにその構造方法の内容を記載する方法、又は(ウ)当該図面内の余白部にその構造方法の内容を特記する方法。

∴(ア)+(イ) } のいずれかの方法で明示する方法
(ア)+(ウ)

(イの例)



[図中に特記] M12 おねじ形アンカー×4本 埋め込み深さL=40以上とする。満水重量 550kg、1階に設置、床のみに固定、引張耐力 4.0KN、アスペクト比 4.5

(方法3)

- ・平面図、系統図又は配置図に、(ア)給湯設備(給湯機器)等の位置を明示し、(イ)給湯設備又は支持構造部の建築物の部分等への取付け部分が荷重及び外力によって当該部分に生ずる力に対して安全上支障のないことを確認するものとして構造計算書を添付する。

∴(ア)+(イ)の方法を明示する。